

世界防災研究所連合(GADRI)理事会・オープン・ディスカッション・フォーラムにおいて「世界防災フォーラム」の開催報告を行いました（2018/3/14-15）

テーマ：国際協力，研究拠点，世界防災フォーラム
場所：京都大学防災研究所（京都府宇治市五ヶ庄）

世界防災研究所連合（GADRI: Global Alliance of Disaster Research Institutes）は、2015年3月に発足した世界各国の災害・防災研究機関によるネットワーク組織です。現在150の研究機関が加盟しています。GADRIの運営方針は、10研究機関による理事会（毎年開催）と総会（2年に1度開催）により決定されます。2018年の理事会は、3月14日（水）に、GADRI発足時から事務局を務める京都大学防災研究所で開催され、本研究所を含む現在の10の理事会研究機関と4月から新たに理事会に加わる5つの研究機関の合計15の研究機関のうち、12の研究機関からの出席がありました。また、3月15日（木）には、理事会参加者を対象としてGADRIオープン・ディスカッション・フォーラムが開催されました。

本研究所からは、理事会に奥村誠教授（人間・社会対応研究部門）と中鉢奈津子特任助教（広報室）が出席して、今後2年間のGADRIの活動方針に関する議論に参加するとともに、オープン・ディスカッション・フォーラムにおいて昨年11月の「世界防災フォーラム」の開催報告をおこない、GADRIによるセッション主催、ブース展示への協力に対する謝意を述べるとともに、2年後の次回のフォーラムに向けての協力を依頼しました。



理事会参加者の集合写真



オープン・ディスカッション・フォーラム参加者の集合写真



報告を行う奥村教授



オープン・ディスカッション・フォーラム会場の様子